

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 大分市立鶴崎中学校 (※正式名称を記載)

種 別 ☐ 保育園・幼稚園 ☐ 小学校 ☐ 小中一貫^{※注1}

☒ 中学校 ☐ 中高一貫^{※注2} ☐ 高等学校

☐ 教員養成大学 ☐ 専修学校、各種学校

☐ 特別支援学校

☐ その他（例：小中高一貫）

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒870-0131

大分県大分市大字皆春 1200 番地

E-mail a43090@oen.ed.jp

Website

幼児児童生徒数 男子 339 名 女子 332 名 合計 682 名

幼児・児童・生徒の年齢 12 歳 ～ 15 歳

2. 報告期間

平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月

※報告書提出時点～平成 30 年 3 月末までの活動は、予定（見込み）として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要（800 字程度＋活動内容を表す写真数枚）

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「地域学習・地域交流」を活動テーマとして、ESD を家庭・地域・学校地域社会の各役割と協働による取り組みと捉え、ESD の実践を通して持続可能な社会づくりのために考え・行動する生徒の育成を目標とした。

具体的には、地域行事への参画や生徒会活動とうによるボランティア活動を柱に、①地域交流に係る活動、②地域環境保全に係る教育、③探究活動に係る学習、④国際理解教育に係る学習を行った。

① 地域交流に係わる活動

「地域立中学生組織」『鶴翼会』を基調に、地域行事への参画や生徒会活動とうによるボランティア活動を融合させた活動を通して、地域に根ざした社会力の育成や郷土を愛する心を育てたいと考えている。その活動の母体となっている鶴翼会は、地域の有志の方が発起人となり、地域が立ち上げた中学生組織である。

② 地域環境保全に係る教育

地域団体と協力し、河川環境に親しみ、地域の一員として河川環境を大切に守っていく「乙津川で遊ぼう」に参加した。内容は、乙津川河川敷清掃活動を行うとともに、乙津川に生息する生物の調査や、カヌー、ボート体験活動など幅広い活動を参加し、乙津川を身近に感じることで、自分たちの生活環境に影響していることを具体的に体験させた。

③ 探究活動に係わる学習

地域の祭や伝統行事において、地域住民や県外や市外からの参加者に対して、案内役や時として歴史遺跡の説明役を担うなど、地域の伝統文化を継承し、持続発展させる中心的な役割を果たした。

①地域の「祭」に積極的に参加し、決められた役割を最後までやりぬいた。

②「歴史探検歩こう会」「熊本交流会」

④ 国際理解教育に係わる学習

国の重要無形文化財にも指定されている「本場鶴崎踊り」に団体参加をしている。約450年の伝統を持つ鶴崎踊りは、全国民芸大会においても紹介され、大分県の夏の風物詩として紹介されている。幼少時より地域の担い手として参加する生徒も多数おり、男子・女子別に団体参加し、伝統継承活動の重要な役割を果たしている。

毎年多くの外国人観光客が参加する。踊りへの誘いや、おもてなしの心遣いで、積極的に関わりを持つ場を設定した。



① の写真（鶴翼会の奏）



② の写真（乙津川で遊ぼう）



③ の写真（熊本交流会）



④ の写真（本場鶴崎踊り）

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

鶴崎踊り衣装類一式
デジタルカメラ、デジタルビデオ、ipad、
市指定ごみ袋、軍手、カヌー、ボート
簡易型水質調査パック

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

目 標	「つながり」人と人のつながり、地域とのつながりとする
指導内容	① ESD（持続可能な開発のための教育）を進める ② ユネスコスクール及び ESD についての理解 ③ 地域学習・地域交流を学習・活動の中心とする
指導内容の工夫	① 地域の方々とともに活動し、ともに考えていくことにより、幅広い見方・考え方を学ばせる ② 一体となって活動することにより、相互理解を深めるとともに地域を愛する気持ちを育ませる ③ 進んで参加することで、地域・社会へ貢献することの大切さを学び、将来のに向けて社会の一員として自立する心を養った

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

鶴翼会総会及び事務局会を開催し、体制と環境を整える。
・事務局会（地域・保護者・教職員）において成果と課題を確認、来年度の行事の日程を決める。
・総会において生徒も交えて成果と課題を確認、来年度の事業の計画の提案、各地区の役員と校区会長・副会長を決める。
（1年は4月、2，3年は3月）

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学期末の学校評価アンケート・鶴翼会総会の意見集約を行い、実態把握に努めた。	
成果	<ul style="list-style-type: none">・自治会の方をお話ができよかった。また、子どもたちのことをよく見てくれて、たくさん意見を出してくれてよかった。（保護者）・年々参加者が増加しています。（地域）・地域の行事は生徒の力が頼りです。（地域）
課題	<ul style="list-style-type: none">・テスト期間や部活動、土日の参加が難しい

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

学校 HP、学校だより、学年通信等で活動の様子を伝えたことで、保護者より、①鶴翼会の一員として活動し、あたたかい地域の見守りやふれ合いを感じることができ、地域や学校に対する感謝の気持ちが増した。②学校では見ることができない人間関係やそれぞれの立場で活動する姿がわかり、学校外での様子がわかることで個々の成長が見られた。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域の有志の方が発起人となり、地域が立ち上げた中学生組織「地域立中学生組織」『鶴翼会』を基調に、地域行事への参画や生徒会活動等によるボランティア活動を融合させた活動を行った。

協働団体

地域の公民館(三佐・鶴崎・別保)

敬老会(三佐・鶴崎・別保)

青少協(三佐・鶴崎・別保)

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

今年度は実施できません

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

地域との協働、豊富な人材を活用した取組を通して「人と人とのつながり」「地域とのつながり」を深めることができた。持続可能な社会の一員として、地域のまちづくりへ働きかけるには、人々と協働していくことが大切であると多くの生徒が学ぶことができた。

（3）平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

6月 校区運動会
7月 出合いふれあいコンサート
8月 熊本との交流会・校区便踊り大会・鶴崎踊り
9月 乙津川で遊ぼう・校区敬老会・校区交通安全推進大会
11月 別保ふるさと祭り
12月 歴史探検歩こう会・校区餅つき大会
2月 歩こう会・クリーンアップ作戦

上記の活動に、職員・生徒がすべて参加する。